

富山市の財政状況

人口 417,282 人
 世帯 156,774 世帯
 面積 1,241.85 km²
 (平成20年3月31日現在)

平成20年3月31日現在の財政事情を表とグラフでお知らせします。

平成19年度予算は、本市の総合計画がスタートする最初の年度の予算であることから、総合計画に盛り込んだ各種施策を着実に推進するため、総合計画の5分野のまちづくりの目標を重点テーマに掲げており、この予算をもとに、県都として、また、日本海側有数の中核都市として、未来に向かって大きく発展し、市民一人ひとりが将来に希望が持てるよう、各種事業に取り組んでまいりました。

これらの執行にあたっては、限られた財源で最大の効果があがるよう、適正かつ効率的に行い、市民福祉の向上に努めています。

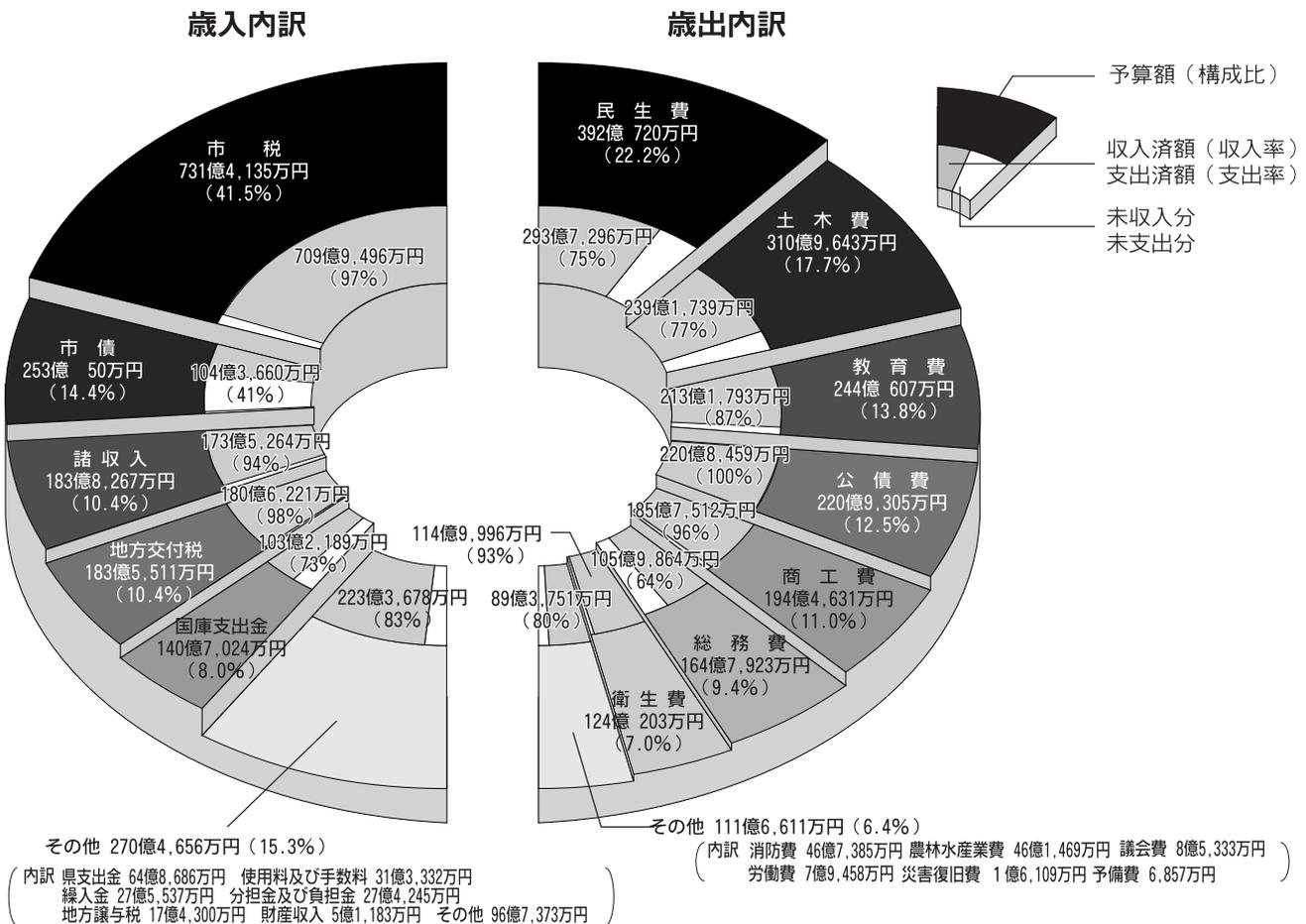
なお、市の出納は5月31日に締め切りますので、多少の未執行分を残しています。

問財政課 ☎443 - 2146

平成19年度予算の執行状況 (平成20年3月31日現在)

一般会計

予算額	収入済額	支出済額
1,762億9,643万円	1,495億508万円	1,463億410万円



特別会計

会計名	予算額	収入済額	収入率	支出済額	支出率
ケーブルテレビ放送事業	2億1,417万円	1億5,519万円	72%	1億7,124万円	80%
電気通信事業	1億2,053万円	1億1,981万円	99%	8,378万円	70%
公債管理	249億4,689万円	249億2,170万円	100%	249億2,170万円	100%
駐車場事業	5億9,586万円	5億7,753万円	97%	4億5,106万円	76%
公共用地先行取得事業	3,823万円	3,615万円	95%	3,615万円	95%
母子寡婦福祉資金貸付事業	4,153万円	6,027万円	145%	1,350万円	33%
老人保健医療事業	396億1,305万円	331億6,966万円	84%	360億3,285万円	91%
介護保険事業	276億8,028万円	228億7,391万円	83%	248億6,782万円	90%
国民健康保険事業	370億6,393万円	309億2,001万円	83%	339億6,716万円	92%
企業団地造成事業	7億1,185万円	6億6,365万円	93%	7億1,029万円	100%
牛岳温泉健康センター事業	2億5,402万円	1億5,580万円	61%	2億1,442万円	84%
牛岳温泉スキー場事業	1億5,584万円	1億1,337万円	73%	1億5,727万円	68%
競輪事業	139億9,739万円	139億3,264万円	100%	136億3,810万円	97%
農業共済事業	4億639万円	1億6,068万円	40%	2億9,826万円	73%
農業集落排水事業	20億3,292万円	6億9,286万円	34%	17億5,060万円	86%
中央卸売市場事業	3億5,253万円	2億4,222万円	69%	3億3,117万円	94%
分譲住宅・分譲宅地事業	353万円	2,245万円	636%	299万円	85%
賃貸住宅・店舗事業	2億6,623万円	2億4,334万円	91%	1億9,095万円	72%
合計	1,484億9,517万円	1,290億6,124万円	87%	1,377億8,776万円	93%

企業会計

会計名	区分	平成19年度予算額	収入・支出済額	収入・支出率	平成20年度当初予算額	平成20年度事業概要
水道事業	収益的収入	71億2,526万円	71億7,515万円	101%	78億9,844万円	給水柱数 165,022 柱 年間総給水量 47,467,281 m ³ 1日平均給水量 130,047 m ³
	“ 支出	73億2,226万円	71億5,991万円	98%	71億9,651万円	
	資本的収入	83億3,989万円	76億2,314万円	91%	76億1,934万円	
	“ 支出	129億5,445万円	119億8,615万円	93%	119億9,752万円	
工業用水事業	収益的収入	4億3,593万円	4億4,636万円	102%	4億5,712万円	給水事業所数 18 事業所 年間総給水量 31,645,500 m ³ 1日平均給水量 86,700 m ³
	“ 支出	3億5,846万円	3億5,855万円	100%	4億4,659万円	
	資本的収入	1億2,113万円	1億2,176万円	101%	1,000万円	
	“ 支出	4億2,405万円	3億5,260万円	83%	1億1,069万円	
下水道事業	収益的収入	134億8,275万円	134億8,798万円	100%	142億7,239万円	水洗化戸数 104,383 戸 年間総処理水量 54,029,451 m ³ 1日平均処理水量 148,026 m ³
	“ 支出	140億1,355万円	138億1,450万円	99%	139億7,611万円	
	資本的収入	140億300万円	135億8,111万円	97%	193億1,824万円	
	“ 支出	198億6,271万円	194億2,762万円	98%	253億6,500万円	
病院事業	収益的収入	112億9,347万円	104億3,859万円	92%	112億8,907万円	病床数 626 床 1日平均入院患者数 502 人 1日平均外来患者数 1,060 人
	“ 支出	115億8,701万円	113億5,118万円	98%	112億6,768万円	
	資本的収入	31億4,343万円	30億6,233万円	97%	12億3,863万円	
	“ 支出	40億813万円	39億1,476万円	98%	20億9,862万円	
国民宿舎事業	収益的収入	2億5,111万円	1億4,557万円	58%	2億3,619万円	宿泊定員 96 人 年間利用者数 88,050 人 1日平均利用者数 243 人
	“ 支出	2億5,111万円	2億2,680万円	90%	2億3,619万円	
	資本的収入	2,199万円	2,198万円	100%	2,245万円	
	“ 支出	2,199万円	2,198万円	100%	2,245万円	

～ 市有財産などの状況 ～

市有財産	区分	金額	面積
市有財産	基金	176億2,450万円	
	有価証券等	58億5,232万円	
	土地	1,628億7,963万円	43,093,877.91 m ²
	建物	2,067億9,996万円	1,758,718.36 m ²

土地の金額は、固定資産評価額で、道路・水路・漁港関係を除きます。

市債現在高	区分	金額
市債現在高	一般会計	2,075億9,343万円
	特別会計	198億8,320万円
	企業会計	2,202億6,928万円

一時借入金	区分	金額
一時借入金	一般会計	0円
	特別会計	0円
	企業会計	1億6,500万円

食中毒に気をつけよう！



気温や湿度が高くなる今の季節は、食中毒菌の動きが活発になり、食中毒にかかる可能性が高くなります。特に、鶏肉、鶏卵などを原因とするサルモネラ食中毒、ひき肉、レバーなどを原因とする、腸管出血性大腸菌やカンピロバクターによる食中毒の発生に注意が必要です。

昨年は、肉やレバーなどの食肉を加熱調理しないで食べたり（生食）加熱不十分な状態で食べたりしたことから、腸管出血性大腸菌「O157」や「カンピロバクター」が原因となる食中毒が多く発生しました。特に「O157」は、幼児や高齢者など体の抵抗力が弱っている人が感染すると重症になることもあり、大変注意が必要です。

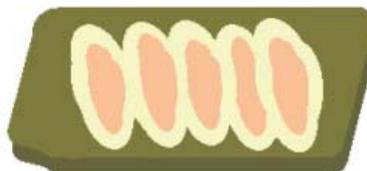
このような食中毒を予防するため、食肉について正しい知識を持ちましょう。

主な原因食品

レバ刺し、ユッケや鶏肉の刺身・たたきなどの肉の生食や、焼肉、バーベキューなどでの加熱不足の肉などは食中毒の原因となることがあります。



レバ刺し



鶏肉の刺身・たたき

特徴

- 主な症状は、下痢、腹痛および発熱です。潜伏期間が長く、食べてから2～7日後（平均2～5日）に発症します。
- O157、カンピロバクターとも、10℃以下の低温でも長期間存在し、少量の菌で発症するという特徴がありますが、加熱・乾燥に弱いので、75℃1分以上の加熱で殺菌することができます。

予防法

食中毒予防の3原則「菌をつけない（洗浄）・増やさない（冷蔵・冷凍保存）・やっつける（加熱殺菌）」を心がけて食中毒の予防に努めましょう。

- 手指はこまめに洗いましょう。
- 肉を扱った調理器具は洗剤で洗ったあとに、熱湯などで消毒してから他の調理に使いましょう。
- 生鮮食品は買い物から帰ったらすぐに冷蔵庫に入れましょう。
- 肉の生食は避け、十分に加熱して食べましょう。また、肉を焼くときの取り箸、トング（食材をはさむ調理器具）などは専用のものを使いましょう。

食中毒かな？と思ったら、まずは医師の診断を受けましょう。